

上野郷主等御返事

弘安五年一月一日 六一歳

昔の徳勝^{とくしょうどうじ}童子は土のもちみを^餅仏にまいらせて一閻浮提^{いちえんぶだい}の主となる。今の檀那等は二十枚の金のもちみを法華經の御前にさ^捧げたり。後生の仏は疑ひなし。なんぞ今生にその^験しるしなからむ。恐々。

正月十一日

日 蓮 花 押

野郷主^{の郷主}殿原^{の殿原}
上^のの^がう^す等^のの^との^ばら